

第6章 抑うつの規定要因を理解する － 因子間のパス解析－

2014.09.22 尾崎幸謙・荘島宏二郎

図6-1の分析

図6-1 分析の準備

第1章Amos資料
目的1参照

1. データ [v06c6Tanaka2006all.sav](#) をWEBから保存
2. Amosの起動
 - スタートメニューからAmos Graphics
 - あるいは、デスクトップアイコンをダブルクリック
3. SPSSデータファイルの指定
 - ファイル→データファイル: [v06c6Tanaka2006all.sav](#) を指定
4. Amosファイルの名付けて保存
 - ファイル→名前を付けて保存: [v06c5fig6-1.amw](#) として保存
5. 分析のプロパティ
 - 出力タブで標準化推定値に

図6-1の分析手順

- 因子間の重回帰モデル
 - パス図の作成
 - 分析と結果の表示
 - 標準化推定値の表示
 - 適合度指標の表示

省略
第2章図2-2の
手順を参照

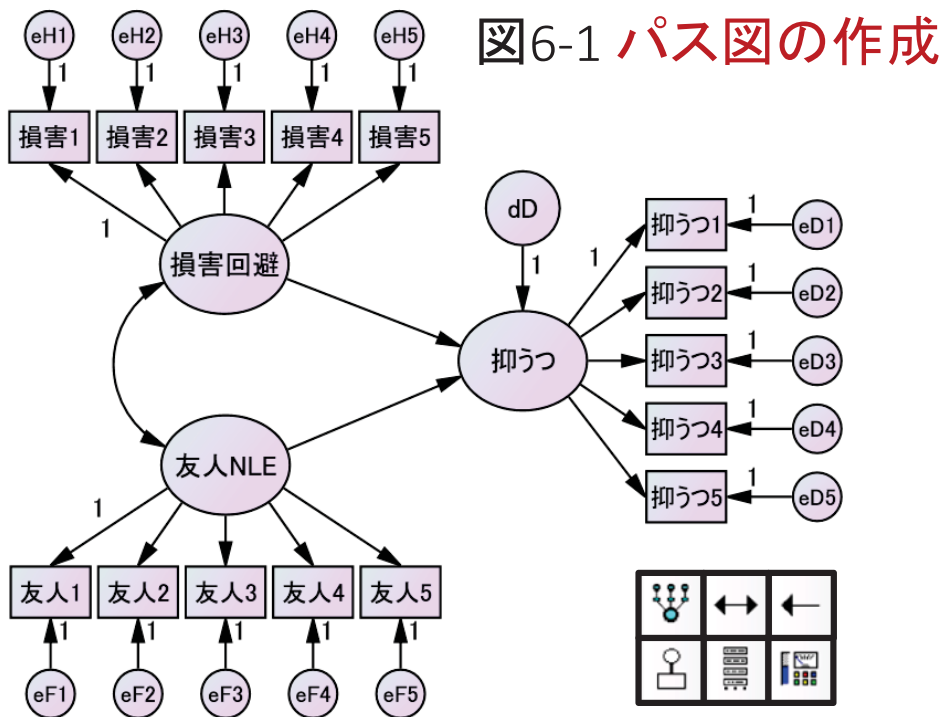


図6-3の分析

図6-3 分析の準備

第1章Amos資料
目的1参照

1. データv06c6Tanaka2006all.savをWEBから保存
 - 前の分析をしていればすでにできている
2. Amosの起動
 - スタートメニューからAmos Graphics
 - あるいは、デスクトップアイコンをダブルクリック
3. SPSSデータファイルの指定
 - ファイル→データファイル:v06c6Tanaka2006all.savを指定
4. Amosファイルの名付けて保存
 - ファイル→名前を付けて保存:v06c6fig6-3.amwとして保存
5. 分析のプロパティ
 - 出力タブで標準化推定値に☑
 - 出力タブで重相関係数の平方に☑

図6-3の分析手順

- 因子間のパス解析モデル
 - パス図の作成
 - 分析と結果の表示
 - 標準化推定値の表示
 - 適合度指標の表示
 - 決定係数

省略
第2章図2-2の
手順を参照

省略
第5章図5-1の
手順を参照

図6-3 パス図の作成

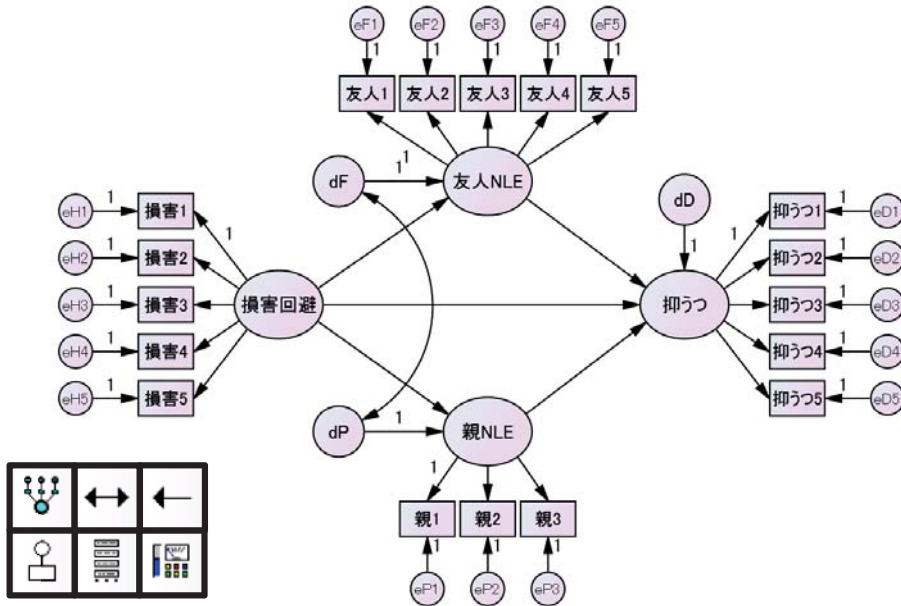


図6-5の分析

図6-5 分析の準備

第1章Amos資料
目的1参照

1. [v06c6Tanaka2006high.sav](#)をWEBから保存
[v06c6Tanaka2006low.sav](#)をWEBから保存
2. Amosの起動
 - スタートメニューからAmos Graphics
 - あるいは、デスクトップアイコンをダブルクリック
3. SPSSデータファイルの指定
 - [多母集団データの指定](#) (次スライドで説明)
4. Amosファイルを名付けて保存
 - ファイル→名前を付けて保存: [v06c6fig6-5.amw](#)として保存
5. 分析のプロパティ
 - 出力タブで標準化推定値に☑

図6-5 多母集団データの設定 手順1/4

The screenshot shows the Amos software interface with the 'グループ管理(G)' dialog box open. The 'グループ名(G)' field contains '損害回避高群'. A callout box provides instructions:

①上の窓が出現
損害回避高群と入力
※名前は自由だが
わかりやすいように

②新規作成

分析→グループ管理

図6-5 多母集団データの設定 手順2/4

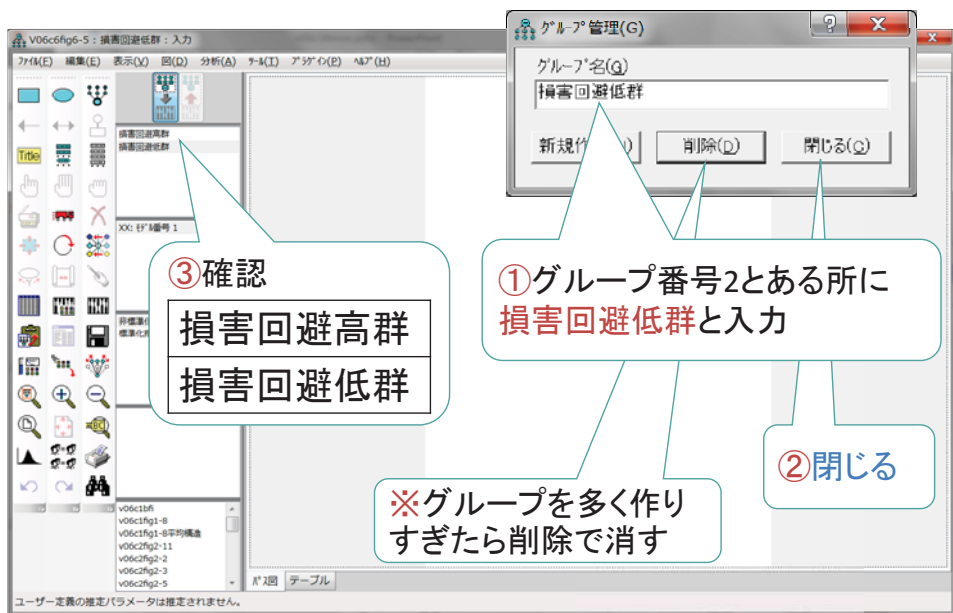


図6-5 多母集団データの設定 手順3/4

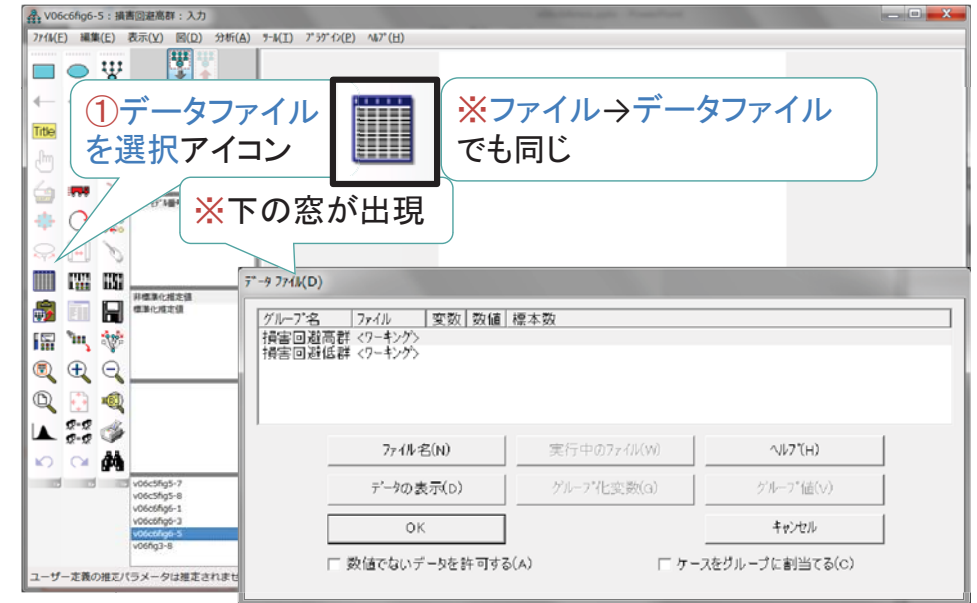


図6-5 多母集団データの設定 手順4/4

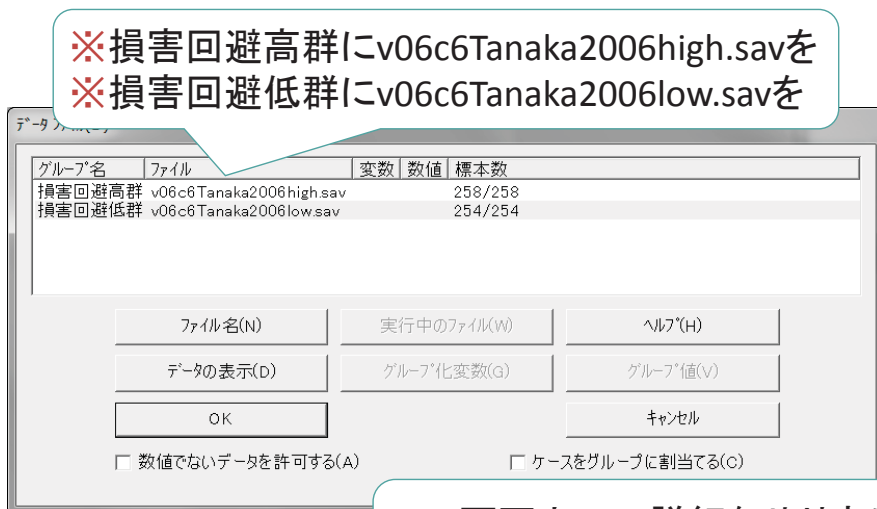


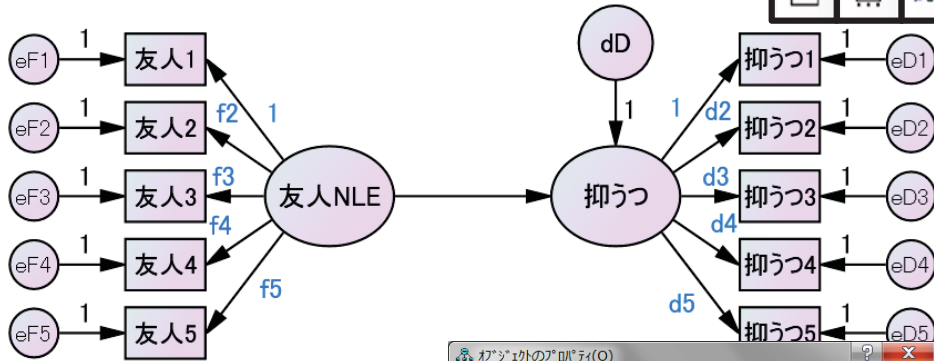
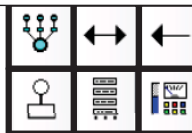
図6-5の分析手順

• 多母集団分析

- 多母集団分析
- 分析と結果の表示
- 標準化推定値の表示
- 適合度指標の表示

省略
第2章図2-2の
手順を参照

図6-5 多母集団分析 手順1/6



①母数に命名
1, f2~f5と1, d2~d5

②すべてに入れる

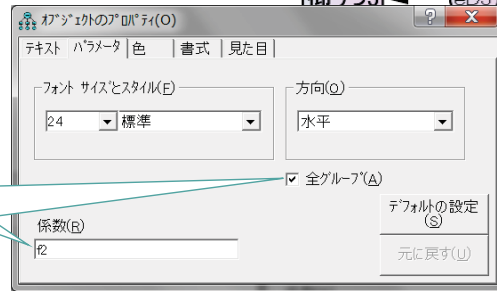
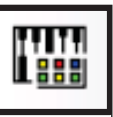


図6-5 多母集団分析 手順2/6



①高群を選択
損害回避高群
損害回避低群

②高群パスと命名
③はずす!!!

図6-5 多母集団分析 手順3/6



②低群を選択
損害回避高群
損害回避低群

②低群パスと命名
③はずす!!!

図6-5 多母集団分析 手順4/6

損害回避高群
損害回避低群

高群パス

低群パス

高群と低群でこのようなパス図ができていればOK
同じ文字を与えたところは等値制約を課している

図6-5 多母集団分析 手順5/6

第3章Amos資料
図3-4, 3-5参照

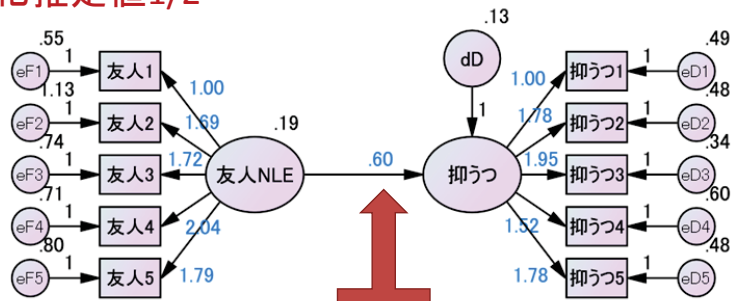
① トップ画面から「分析→モデルを管理」

図6-5 多母集団分析 手順6/6

図6-5 多母集団分析 非標準化推定値1/2

OK: 図6-5等値ありモデル
OK: 図6-5等値なしモデル

損害回避高群
損害回避低群



注目

損害回避高群
損害回避低群

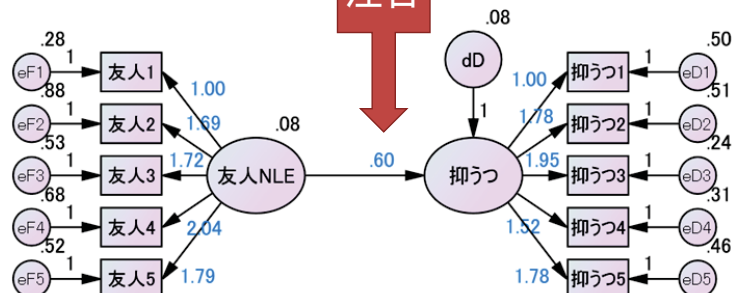
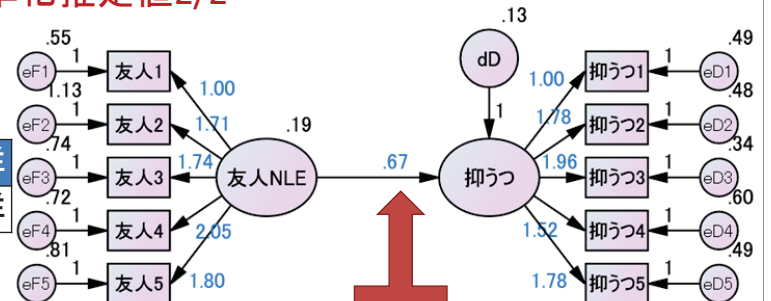


図6-5 多母集団分析 非標準化推定値2/2

OK: 図6-5等値ありモデル
OK: 図6-5等値なしモデル

損害回避高群
損害回避低群



注目

損害回避高群
損害回避低群

